



感染を経験された方の声 気持ちが楽になった・救われた経験

令和2年1月末から1か月間、軽症者療養施設に入所された方約500人にアンケート調査を依頼し、203人の方から回答をいただきました。

入所までに不安やつらかったことに「あり」と回答した人は87%で、そのうち5割以上の方が、誰かに感染させたかもしれないこと、家族や身近な人が濃厚接触者になったことに申し訳ないという思いを持っておられました。支えてくれた相手が一番多かったのは家族で、回答した方の半数の方がサポートを受けた相手として「家族」をあげました。また、約7割の方が退所後の不安を抱えており、一番多かったのは職場や学校へ迷惑をかけたという思いでした。

感染を経験された方が、周囲の人からの言葉かけやサポートで、気持ちが楽になったこと、救われたように感じたこととして、回答いただいた内容の一部を紹介します。

【家族や周囲の知人友人から】

- 家族や友人知人が親身になってくれ、とても心配しながらも力強い存在でいてくれた。家族に申し訳ないことを伝えると、私自身ではなく「悪いのはコロナだ」と返してくれたことがとてもありがたかった。
- 家族が皆メール等で心配をしてくれます。子供、孫達まで濃厚接触者にしてしまったのに自分らのことより私の身体を気遣ってくれています。
- 保育園のママ友から、テレビ電話とかして「気持ち楽になるようにできることあれば～」と言ってもらえた。
- 「このご時世、誰がなるか分らんし、コロナになったのも別に悪いことじゃないから自分を責めないで」と言われ、すごく気が楽になった。
- 「これだけ蔓延しているから仕方ない。自分がうつしたと思わないように。必要な物は、なんでも送るよ。力になるから、いつでも連絡してね。」

【職場から】

- 上司や同僚からは「あなたが一番辛い、誰がなってもおかしくない、私達は大丈夫、何も気にせず休んで。」と皆が言ってくれて本当に救われました。
- 上司から「職場の事は大丈夫だから体調管理と療養をしてください。」とってください、家族の体調も気にかけてもらえて、気持ちが少し楽になりました。
- 「（医療従事者として）一生懸命働いていた結果だからアナタは何も悪くない。感謝しかないよ。謝らないで下さい。ゆっくりと療養して下さい。」
- 職場の人から、「病気になったらみんな普通に復帰していますよ。コロナだからといって戻って来られないってことはないですよ。」と言われた事。職場に迷惑をかけ、消えてしまいたいと思っていたので。

【看護職(保健所保健師、病院の看護師、入所施設の看護師等から)】

- 「何かあったら直ぐ連絡してきて下さい。」(保健師や看護師から)
- 「(そんなに不安にならなくても)大丈夫」と言われたこと(保健師や病院の看護師から)。
- (忙しいにもかかわらず)嫌がらずしっかり話を聴いてもらえて、気持ちが楽になった(過去に肺の病気をしており肺炎がとても心配だったので)。
- 保健所の方がとても丁寧に、そして早い動きで対応して下さったこと。
- 感染後、入院までは行動予定の説明のみであまり不安解消にはならなかったけど、入院後看護師さんが酸素量をまだ測ってないと聞き心配してくれ、測定後100%あった時に「よかったーよかったー」と何回も言ってくれた事が、大変嬉しくありがたく、安心した。
- 「感染したのはあなたが悪い訳ではなく、あなたも濃厚接触者も被害者ですよ」と言われたこと。
- (入所施設看護師が)いつでも対応してくれるという安心感。自分も感染しているかも・するかもという不安の中でも忙しさ etc.出さずに対応してくれた。
- 看護師をしています。感染防止に努めコロナと闘いましたが戦線離脱。患者の立場になり、保健師さんの優しく、親切丁寧な対応に心がなごみ、また、タクシーの方も親切丁寧な対応で療養先のホテルまで送迎して下さり、いろんなところでそれぞれの役割でコロナと闘っていることを目の当たりにし感謝と共にここでくじけてはならぬと自分に与えられた役割を頑張らねばと思いました。